

2025年5月30日（金）25年度第2回全体会員交流懇親会を開催しました。



【一柳理事長】

25年5月30日（金）、65名の会員にご出席いただき、第2回全体会員交流懇親会が開催されました。調査研究会の活動報告やイベント・交流タイムで、会員相互に「学びと交流」が益々深まり大盛会となりました。

冒頭、一柳理事長から開催のご挨拶では、昨年度末94名の会員数が現在120名に達したことへの御礼を申し上げます。また、会員のクオリティ維持のため今後新規入会時の面接手続きを行うこと、および本日も出席の新しく参加になられた皆さんをご紹介いたしました。

引き続き、社団発足時より理事にご就任頂いている斉藤惇様からご挨拶を頂き、「未来は皆さんが持っている。運命は自分が作るもの。」との強いメッセージが語られました。続いて、当社団理事の吉田真貴子様より「20年、30年の積み重ねが未来を創る。」と話された後、乾杯のご発声を頂き、和やかに懇親会が始まりました。



【斉藤理事】



【吉田理事】

お食事、ご歓談を挟んで、24年度の活動で進められた第2号調査研究会「人材価値の最大化の取り組み」の委員会主査をなされた八木洋介様に講話を頂戴しました。この調査研究会報告書を基に、大手を代表して「JR東日本」、中堅を代表して会員企業の「いであ」、スタートアップの「坪田ラボ」の3社が実行フェーズの取組みを開始したところです。

講話では、様々な国際比較の指標を見て日本がかつて誇っていた経済力がどんどん失われてきた現実と向き合い、今こそ戦略人事の断行の時という八木様からの熱量の高い主張に、会場の皆さんは真剣に耳を傾け、メモを取られる方々が多数見られました。



【八木氏】



【講話の様子】

その後はプログラムに沿って、会員スピーチ、イベントと進み、先ず全体会員交流懇親会に初参加の会員および前回スピーチできなかった会員の総勢 24 名から自己紹介スピーチを頂き、スピーチ賞（カレーセット）が理事長より 3 名の方に贈呈されました。



【会員スピーチの様子】



【スピーチ優秀者へプレゼント】

続くイベントでは恒例のじゃんけん大会が催され、理事長と会員全員参加で最後に勝ち残った 3 名の方に賞品（折りたたみ傘）が贈呈されました。



【じゃんけん大会】



【じゃんけん勝者へ景品贈呈】

イベントを終え、専務理事から、参与制度のご説明、小規模交流懇親会のご案内方法の変更および懇親会費値上げの切実なお願いがなされました。

その後は恒例の交流タイムに入り、席を離れての会員相互の活発な交流が行われました。いつもながら時間を忘れる懇親会も中締め時間となり、最後に当団理事の田和宏様よりご挨拶を頂戴いたしました。田和様から「我が国はエネルギー、食料など経済安全保障が重要な政策課題だが、コストがかかるという議論が重要。」との示唆を頂き、締めくくりは、理事長の益々のご健勝と社団の発展を祈念し「一本絞め」で大盛況のうちに終了となりました。



【田和理事】



【懇親会の様子】



【『一柳良雄が問う 日本の未来』のタイトルコールのポーズで記念写真】

<参考 今回の全体会員交流懇親会でお伝えしたこと>

- ① 新規入会時には理事長または専務理事の面接審査をお願いする。
- ② 参与制度を設置する。参与は理事と会員の中間的な位置づけで社団活動のアドバイザーの役割。
以下の皆様にお引き受け頂きました。(五十音順)
神岡太郎様 (一橋大学名誉教授、工学博士)
工藤勇一様 (教育アドバイザー、元横浜創英中学・高等学校校長)
高波博之様 (元有限責任あずさ監査法人理事長)
古川英一様 (TOKYO 企業情報株式会社代表取締役、立教大学特任教授)
茂木源人様 (東京大学特任教授)
八木洋介様 (株)people first 代表取締役、元(株)LIXIL グループ執行役員副社長)
- ③ 小規模交流懇親会のご案内方法の変更 (詳細は配布資料)
原則としてご招待制から先着順制に変更。開催回数年8回から12回へ。
- ④ 各交流懇親会の参加費用の値上げ
一律5千円から1万円に値上げ。次回ご案内から実施。